

令和2年度清水区未来創造トーク実施報告 第3回清水区未来創造トーク

(1) 日時 令和2年11月28日(土) 午後1時から午後4時

(2) 場所 清水区役所3階ふれあいホール

(3) 目的及びゴール

【目的】区長・副区長とのトークを行い、これまでのグループワークでは得られなかった気づきを得る

また、区長の思いを直接聴くことで、地域との関わりについてより深く考える機会とする

【ゴール】“私が住み続けたいと思うまち”について区長へ発表し、トークを通してさらにこれから私がまちのために取り組んでみたいことや貢献したいことについて考え区長へ宣言を行う

(4) 内容

①事業の趣旨説明

改めて趣旨説明、これまでの事前打合せについて簡潔に説明

本日の目的及びゴールの説明

②区長プレゼン

トークテーマをグループごとに区長へ発表 ※10分×3グループ

③未来創造トーク

区長・副区長とトーク(意見交換)する

④グループワーク

書き出したアイデアをグループで共有し、模造紙を使ってグルーピングを行う

⑤未来創造宣言シート記入&宣言

“私がまちのために取り組んでみたいこと・貢献したいこと”について、未来創造宣言シートに記入し、区長へ一人ずつ宣言する

⑥区長・副区長総評

区長及び副区長からの総評

⑦表彰

各グループへの表彰

⑧シズラ登場・記念撮影

《トーク内容》

■堀池区長からの問いかけ

【チームサイレント・ヒル】<テーマ：近代的里山>

堀池区長：近代的里山というのは、今の時代に合ったふるさとという意味かと思いますが、レジャー施設が少ないという主張は里山のイメージと結びつかないのではないでしょうか。

チームメンバー：自然を活用したアスレチックや海上アトラクションをイメージしています。ある程度開発を伴うイメージという認識です。

【チーム高校生（かんとく含む）】<テーマ：関係人口を増やす!!>

堀池区長：「関係人口」という言葉が出てきたいきさつを教えてください。

チームメンバー：人が集まることや、定住人口を増やすことを考えたときに出てきました。

堀池区長：定住人口、関係人口以外に、もう一つ「交流人口」という言葉があります。定住人口は住んでいる人、交流人口は例えば観光客や、住んではないが通勤などしている人、関係人口は、定住人口と交流人口の中間的な概念です。例えば、清水にルーツがある人や親の地元が清水などです。静岡市、清水区だけでなく全国的に人口減少が問題となっています。要因は少子高齢化、首都圏への人口集中といわれています。そこで市が最初に取り組んだのが移住施策です。ただ移住だけではなかなか人を集めるのは難しいので、移住以外でも清水に来てもらうように交流人口、そして関係人口に注力するようになりました。その関係人口に着目してくれたことはうれしいです。

【チームおかし】<テーマ：自然と都市化が両立した街>

堀池区長：名前の由来は何ですか。

チームメンバー：（ワークショップの時に）食べていたからです。

堀池区長：地元の特産品を使いたいとは、具体的にどういう風に使っていきたいですか。

チームメンバー：清水銀座にマグロ、石垣いちごなどが食べられるお店を作るなど、地元に即したものを使えば清水に関心が向くと思います。特産物を既存の施設で活用してほしいです。

堀池区長：私たちが観光や旅行に出かけるときは、まず何を調べますか。食べ物以外で考えてみてください。

チームメンバー：体験、周辺施設とかでしょうか。

堀池区長：清水を他区に負けないという視点は良いですね。世界遺産や史跡だったり、体験できるものだったり、食べ物以外にも見出してほしいと思います。桜えびは静岡市オンリーワンです。全国に地元の特産品、オンリーワンをうまく発信して行ってほしいと思います。

■青木副区長からの問いかけ

【チームサイレント・ヒル】<テーマ：近代的里山>

青木副区長：ターゲットは地元民ということですが、年齢層は考えていますか。

チームメンバー：子育て世帯、親子連れや孫連れなど幅広い世代で考えています。

青木副区長：海上アトラクションは具体的なイメージしているものはありますか。

チームメンバー：例えば、アスレチック広場が海の上にあるような施設を以前テレビで見たことがあります。砂浜を利用した遊びができる場所も良いと思います。

【チーム高校生（かんとく含む）】<テーマ：関係人口を増やす!!>

青木副区長：以前の災害で崩れた土砂を利用してバイパスや東名などを作ったと聞きます。由比の土砂を削る発想は驚きましたが面白いと思います。

青木副区長：若者向けの施設とは、具体的にどのようなものでしょうか。

チームメンバー：例えばスターボックスです。

ただ、スターボックスがあるから静岡まちなかに行くわけではありません。呉服町などまちなかを歩くよりも、大型施設に入ってショッピングすることが多いです。

青木副区長：イオンに行かない理由は服屋さんが少ないからでしょうか。清水に大型施設があれば行きますか。

チームメンバー：大型の商業施設が清水にあったとしても、規模としては静岡に劣ってしまうと思います。複合施設ではなく、大きな専門店が清水にあったらいいと思います。

【チームおかし】<テーマ：自然と都市化が両立した街>

青木副区長：映画はエスパルスドリームプラザに観に行きますか。

チームメンバー：映画を観た後にすることがないため、静岡に行ってしまう。静岡に比べると買い物に行くお店が少ないと思います。新静岡セノバにも映画館がある

ので、映画を観る前後に遊べる店がたくさんある静岡へ行くことが多いです。

青木副区長：地元を感じさせる施設というのは例えばどういうものでしょうか。特産品のイメージですか。

チームメンバー：清水にしかないもの全般です。

青木副区長：清水銀座、駅前銀座に地元の人に来てもらいたいのでしょうか、それとも観光客に来てもらいたいのでしょうか。

チームメンバー：両方来てほしいです。地元の人向けの娯楽や清水の特産品を食べられるスペースもあればPRになると思います。

清水銀座には活気が足りないと思います。若者が好きそうな、清水銀座に行きたくなるような店があれば良いと思います。

■ブレイクタイム（区長からの提案）

堀池区長：一人一つ、清水の“食”の特産品を挙げてください。

チームメンバー：缶詰、カツオ、メロン、お茶、紅茶、黒はんぺん、みかん、有度梨、削り節、もつカレー、静岡おでん、石垣いちごなどが挙げられた。

堀池区長：全員一人ずつ言っても意外とありますね。知られていないものをPRするには、誰がどう伝えれば良いでしょうか。自分がSNSなどを使って伝える・発信することもできます。自分がインフルエンサーになることもできます。自分は何かできるかという発想もあるのかなと思っています。

堀池区長：逆に皆さんから私への質問はありますか。

チームメンバー：清水港は、もっと水質を改善しないといけないといわれていると思います。私は清水港を観光より工業港にすべきだと思います。景観が良くないですし、工場を移転するのは難しいです。工業港、貿易港にしつつ、海のきれいさをアピールさせるのは、どう両立していく予定でしょうか。

堀池区長：清水港は特定重要港湾に指定されています。昔はいろいろ開発されていたので、工業地帯やそうでないところが点在しているところがあります。興津は、ふ頭を伸ばして発展したりしています。計画の中にはエリアを分けて開発することになっています。静岡市では、コロナの影響でずれ気味になっていますが、日の出地区に海洋文化施設を作るなど、海と触れ合える憩いの場を作るエリアを作る一方、興津の港湾として使うエリアとでエリア分けをして共存していこうという動きがあります。海の汚れについては私たちがきれいに

していこうという意識が大事です。コンパクトな中に、工業と憩いと世界遺産の共存で開発が進められています。

チームメンバー：清水区が静岡県で最も製造業の人が働いていると調べたことがありますが、これまでに清水で製造業を誘致したのか、それとも昔からそうだったのか知りたいです。

堀池区長：港の影響が大きいです。昔は貯木場があって、海外から木が持ち込まれていました。ベイドリームは昔、貯木場でした。港湾関係の産業もありました。それと造船業があり、一大工業地帯となっていました。今では産業の形態が変わってきているが、生き残りをかけて企業も頑張っています。もっと言うと、清水次郎長が清水港の発展に尽力した時代から清水港は発展してきています。

《総評》

■堀池区長

皆さん、本当にありがとうございました。3回のワーク、皆さんいかがだったでしょうか。最初に挨拶させてもらったとき、お互い仲良く、自由かつフレッシュな発想で、相手のことを思いやりながらやってくださいというお願いをしました。今回学校、学年の違う人が清水区の高校生ということで集まってもらいましたが、ともに清水区の将来を考える時間を共有できたことが良かったと思います。皆さんもそういう思いでいてくれたらうれしいです。ここでの仲間を大切にしてほしいと思います。

第1回は、清水区の地域資源の掘り起こし、あるべき姿について考えてもらいました。そして、清水区の強みや弱みについて考えてもらいました。SDGs と関連したもので言うと、SDGs の「目標 11 住み続けられるまちづくり」、ここに繋がると思います。また、「目標 3 すべての人に健康と福祉を」にもつながるのでしょうか。みんなのグループワークで出た意見を自分なりにグルーピングしてみたら、すべてのチームに共通したものが4つほどありました。1つ目は、『自然』、これは、「目標 14 海の豊かさを守ろう」と「目標 15 陸の豊かさをも守ろう」に共通していると思います。富士山の景観、三保の松原、海や山の自然の豊かさ、気候が温暖、空気が美味しいなどがありました。一方、水はけが悪い、津波災害などは「目標 11 住み続けられるまちづくりを」に関連し、災害リスクの管理にもつながります。川や海の汚染については、「目標 6 安全な水とトイレを世界中に」にもつながっていきます。2つ目は『食』、お茶ミカンなどの特産物、地元でしか食べられないお店が出てきましたが、これは、「目標 12 つくる責任つかう責任」の中にある食品ロスを減らすことや、「目標 14 海の豊かさを守ろう」にもつながってきます。3つ目は『交通』、これは「11 住み続けられるまちづくりを」につながりません。電車バスが整っているという反面、料金が低いという意見もありました。静岡県の中でも首都圏からのアクセスの良さ、立地の良さも関連することだと思います。4つ目は『施設』、大きく括ると港、エスパルスドリームプラザ、商店街など、これはまさに「11 住み続けられるまちづくりを」につながる話だと思います。私なりに面白いと思ったのは、清水にしかないという括りをしてくれたチームがあつて、まさに清水区のオンリーワンを捉えてくれていると思いました。市が事業を考える際に課題の抽出をしますが、その中に、皆さんと同じ視点のものがたくさんありました。清水区の特性をしっかり理解してくれているなと思いました。静岡市中心市街地活性化基本計画というものがあつて、その中に清水区の中心市街地の特性が書いてありますが、皆さんの意見と同じことが書いてあります。もう一つ、静岡市空家等対策計画という計画があり、空家については市としても考えていることであり、的をえたことを考えてくれているなと思いました。

第2回はテーマを深掘りして考えてもらいました。「チームおかし」について、施設をテーマとしながらも、自然や食などいろいろな分野が出てきました。一つの理想・ことを考えたときは、いろいろな分野が関わってくるということが見え隠れしたと思います。「チームおかし」の議論をさらに深掘りしていくなら、自然と都市化を両立させるには、ある意味相反するこの二つをどう両立したらいいかを考えていくといいと思います。「チーム高校生」のなんとなく浮かんだという関係人口の考え方は良いひらめきだと思います。静岡市でも定住人口、関係人口、交流人口を検討しながら街の活力を維持することを考えています。さらに深掘りするなら、理想とした“安心・安全な町づくり”や“暮らしやすい町づくり”に関係人口が具体的にどう影響するか考えたら良いと思います。「チームおかし」は相関関係が分かりやすかったです。ターゲットを地域住民にしてくれたので、ふるさと回帰志向、地元愛をくすぐるような点が良かったです。地域住民は清水区にゆかりのある人なので、ゆかりのない人と比べると心変わりが少ないです。さらに深掘りするとするならば、地域住民だけではパイが限られているので、関係人口・交流人口をどう巻き込んでいくかを考えていけばより深掘りできると思います。

今日のトークは、模造紙に書けない部分が聴けて良かったです。皆さんが考えてくれた強み、弱みについては、私たちが考えていることと同じようなこともあれば、新鮮味を感じた部分もあります。未来創造宣言は、それぞれ皆さんが思う清水区のためにやっていくんだという思いが伝わり、非常に頼もしく感じました。清水区にこれからも住み続けたいと思うまちにするためには、様々な課題があるということが皆さんにもわかってもらえたかと思います。この課題を解決していくには、行政だけでは達成できません。地域の住民、企業、自治会など清水区に関わる皆さんと一緒に達成していかなければなりません。SDGSが目指す国際社会の姿は市の方針と沿っています。世界基準の物差しを取り入れて、世界に輝く静岡市を進めています。そしてこれを実現させるために取り組みは今後も続き、歩み続けていかなければなりません。宣言してくれたことは今日で終わりではなく今日がスタートだと思ってください。これから清水愛を持って取り組んでもらえたらうれしいです。清水に暮らしているというところから一歩踏み込んで、清水区のために自分にできることを何かしよう、清水を良くしたい、関わっていきたいと思っていただけたらと思います。これは特別なことをするのではなく、皆さんの宣言の中にあつたことを少しずつ取り組んでもらえたら大きな力になります。皆さんの話を直接聴けて本当に良かったです。

最後に私からのお願いで、生活のスタイル、趣味、肌感覚でもいいので、静岡市、特に清水区を好きになってほしいと思います。なぜかという、好きになったものについては頑張れるからです。これから進学などで、清水を離れることがあっても清水を応援してほしいと思います。そして、できればまた清水区に戻ってきてくれたらうれしいです。これは宣伝になってしまっていますが、清水区の広報キャラクター「シズラ」が清水区の情報発信していますので、フォローしていただけたらとてもうれしく思います。今回、皆さんにお会いできたことが本当に良かったです。私自身もこれで終わりにならないようにしたいと思います。こ

の3回が有意義なものになったかなと思います。本当にありがとうございました。

■青木副区長

今日は発表の場ということで、2回にわたり、検討していただきありがとうございます。

まず、「チームサイレント・ヒル」について、しっかり現状分析したことが伝わってきました。発表の時に、声もはっきりしていて相手の顔を見て発表していただき良かったです。2つ目の「チーム高校生（かんたく含む）」は、まず問題点を挙げて、そのあと対策、まとめに入って、発表も3人で分担して話をしていただけて良かったです。最後に「チームおかし」は、現状と理想、まとめもしっかりできていました。問いかけるような話し方で発表していて良かったと思います。全体的に、良い発表でした。自分が思いつかなかったアイデアもありました。

私からのお願いとして、まだ皆さん若いので、できればほかの地域に住んだり、出かけたりにしてほしいと思います。静岡だけではなくほかの地域も見て、どんなものがあるかを見てもらいたいです。若い世代でないと感じえないこともあると思います。そしてそのあと地元に戻ってきてほしいと思います。清水をもっと輝く地域にしてほしいです。予想以上の発表が聴けて良かったです。ありがとうございました。

各グループのプレゼン結果

発表テーマ・グループ名	プレゼン結果
「近代的里山」 チームサイレント・ヒル（静岡）	グッドプレゼン賞
「関係人口を増やす!!」 チーム・高校生（かんとく含む）	着眼点がすばらしいで賞
「自然と都市化が両立した街」 チームおかし	ぜひ実現させてほしいで賞